

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,696	9.6	89	39.1	113	2.3	56	18.6
2020年3月期第3四半期	4,087	5.2	146	41.4	111	48.6	47	58.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 134百万円 (168.2%) 2020年3月期第3四半期 50百万円 (53.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	60.31	
2020年3月期第3四半期	50.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,257	4,172	48.1
2020年3月期	8,007	4,116	49.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,973百万円 2020年3月期 3,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		70.00	70.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,080	10.5	70	70.6	80	58.1	20	57.4	21.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,000,000 株	2020年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	66,107 株	2020年3月期	66,107 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	933,893 株	2020年3月期3Q	933,925 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、社会経済活動が停滞し、極めて厳しい状況となりました。また、景気の先行きについても、各種政策が施行されておりますものの、感染の収束時期が見込めず、不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループでは昨年度より掲げております経営ビジョン「モノづくりのプロにゆえ、モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」の浸透と発信を更に進め、経営目標達成に向け努力してまいりました。そして、コーポレートカルチャーの醸成と経営ビジョンの推進を図り、また、如何なる波にも耐え得る力をつけるため、新たに2020年度経営課題として『業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る』を定め、この課題解決に向けた機能的な組織体制とすべく、2020年4月に組織改革を実施しました。社長室には経営戦略実行の徹底・強化を図るために経営企画担当を設置し、マーケティング本部については「モノづくり事業本部」と改称し、傘下にある「商品部」はこれまでの商品企画部・購買部・特販部門を統合するなど“モノづくり”を一気通貫で推し進めるための組織づくりを実施しました。また、国内・海外の営業をそれぞれの戦略に則り徹底的に進めていくために営業部傘下の海外営業グループを独立させ、「国内営業部」と「海外営業部」を設置しました。また、具体的な課題解決を図るべく各種プロジェクトを立ち上げ、その推進をしてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動停滞影響を受け、売上高は前年同期比9.6%減の36億9千6百万円（前年同期40億8千7百万円）となりました。利益面では減収影響に加え、景況に応じた計画的な休業を実施したこともあり、営業利益で同39.1%減の8千9百万円（同1億4千6百万円）となりましたが、雇用調整助成金等の営業外収益の計上により経常利益では同2.3%増の1億1千3百万円（同1億1千1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同18.6%増の5千6百万円（同4千7百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

超高速リベティングと軽量ボディを実現させた新型コードレスリベッター「R2B1」や軸の強いソケット「ストロック」、ブラインドリベットの品揃え強化などの新商品投入、その他拡販努力による一部の商品や地域について売上の増加がありましたものの、国内、海外売上ともに、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の停滞や営業活動に制限を受けたことを要因として減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比10.7%減の34億9千8百万円（前年同期39億1千6百万円）となりました。利益面では売上減少に対応した経費節減を行いました。減収や休業の影響が大きく、1千6百万円のセグメント損失（同7千3百万円のセグメント利益）となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数及びお客様一人当たり売上高は、新型コロナウイルス感染対策として打ち出された外出自粛要請を受けた入場制限や時短営業実施の影響がありましたものの、感染対策を講じた上で営業を継続したことに加え、前年度までに実施してまいりましたサービス向上や集客施策の奏功もあり、前年同期に比べ増加し、売上高は前年同期比15.8%増の1億9千7百万円（前年同期1億7千万円）となりました。セグメント利益は増収により、同45.1%増の1億6百万円（同7千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は82億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千万円増加しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比3億3百万円増の54億6千万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少があったものの、現金及び預金やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同5千3百万円減の27億9千6百万円となりました。これは投資有価証券の時価評価に伴う増加があったものの、減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比7千7百万円減の23億8千5百万円となりました。これは主に短期借入金の増加がありましたものの、買掛金や未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は同2億7千2百万円増の17億円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比5千5百万円増の41億7千2百万円となりました。これは主に配当支出による利益剰余金の減少がありましたが、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、2020年11月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,000,937	2,426,699
受取手形及び売掛金	1,166,296	946,124
電子記録債権	152,302	191,561
商品及び製品	1,235,589	1,254,562
仕掛品	314,563	350,800
原材料及び貯蔵品	220,086	222,857
その他	72,388	73,395
貸倒引当金	△5,514	△5,484
流動資産合計	5,156,650	5,460,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	949,947	912,198
土地	673,026	673,026
その他(純額)	529,583	458,414
有形固定資産合計	2,152,557	2,043,639
無形固定資産	55,901	49,530
投資その他の資産	642,059	703,820
固定資産合計	2,850,518	2,796,990
資産合計	8,007,169	8,257,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,788	171,403
短期借入金	1,604,670	1,698,796
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	36,139	11,998
その他	462,642	442,815
流動負債合計	2,462,240	2,385,013
固定負債		
社債	90,000	60,000
長期借入金	1,027,440	1,379,836
退職給付に係る負債	72,699	75,292
その他	237,953	185,212
固定負債合計	1,428,093	1,700,340
負債合計	3,890,333	4,085,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,486,445	2,477,395
自己株式	△164,084	△164,084
株主資本合計	3,773,406	3,764,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,227	209,138
その他の包括利益累計額合計	146,227	209,138
非支配株主持分	197,201	198,659
純資産合計	4,116,835	4,172,155
負債純資産合計	8,007,169	8,257,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	4,087,618	3,696,256
売上原価	2,620,201	2,442,099
売上総利益	1,467,417	1,254,157
販売費及び一般管理費	1,321,069	1,165,075
営業利益	146,347	89,081
営業外収益		
受取配当金	15,835	11,349
受取家賃	6,914	3,001
助成金収入	-	58,233
その他	5,083	4,601
営業外収益合計	27,833	77,186
営業外費用		
支払利息	23,445	21,290
売上割引	34,389	29,916
その他	5,071	1,245
営業外費用合計	62,907	52,452
経常利益	111,273	113,816
税金等調整前四半期純利益	111,273	113,816
法人税等	50,130	42,928
四半期純利益	61,142	70,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,666	14,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,475	56,323

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	61,142	70,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,919	63,804
その他の包括利益合計	△10,919	63,804
四半期包括利益	50,222	134,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,178	119,233
非支配株主に係る四半期包括利益	13,043	15,458

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,916,886	170,732	4,087,618	—	4,087,618	4,087,618
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,916,886	170,732	4,087,618	—	4,087,618	4,087,618
セグメント利益	73,273	73,074	146,347	—	146,347	146,347

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,498,501	197,755	3,696,256	—	3,696,256	3,696,256
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,498,501	197,755	3,696,256	—	3,696,256	3,696,256
セグメント利益又は 損失(△)	△16,920	106,002	89,081	—	89,081	89,081

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。